

令和5年度ガバメントクラウド先行事業の検証予定内容

令和3年度から実施しているガバメントクラウド先行事業において、令和5年度は深堀フェーズとして、主に以下の事項を検証する予定です。

1. コストメリットや運用効率性が享受できる構成への移行検証

- 国が示す推奨構成及びマネージドサービスの活用検討、検証

2. 運用における目標管理指標の検証

- 指標値の検討、指標値達成状況の可視化検証
- 運用課題の抽出及び解決策の検討

3. 標準準拠システムのシフト検証

- シフトに伴う検証

4. ネットワーク接続の在り方検証

- ネットワーク接続の共同利用方法の検討

5. 投資対効果の検証

- 各検証項目等による投資対効果の検証

参考：令和3～4年度ガバメントクラウド先行事業の検証内容

令和3年度～4年度においては、主に以下の事項を検証しています。

1. 非機能要件の標準の検証

- 先行事業においてガバメントクラウド上に構築したシステムが、非機能要件の標準（令和2年9月内閣官房IT室・総務省）を満たすことを検証
- 非機能要件の標準の拡充版（1.1版）を作成後、1.1版についても検証予定

2. 標準準拠システムへの移行方法の検証

- ガバメントクラウドにリフトしたシステムとリフトしないシステムとの連携を検証
- 「A.ガバメントクラウドにリフトしてから標準準拠システムへシフトする方法」と「B.リフト・シフト同時に実施する方法」を、コストとリスクの観点で比較検証

3. 投資対効果の検証

- 「A.現行利用中のシステムを同規模で入れ替え・継続利用した場合」と「B.現行利用中のシステムをガバメントクラウドへリフトする場合」について、投資対効果比較を検証

4. 推奨構成の検討

- 迅速、柔軟、かつセキュアでコスト効率の高いシステムを構築可能とするため、ガバメントクラウド上での推奨構成を検討

※「推奨構成」とは従来「リファレンスアーキテクチャ」としていたものを改称